

Ver.1.0		成人期			
		特二思考	成人一般	特一実践	特二実践
各期の特徴 重点領域 消費者市民社会の構築 商品等の安全 生活の管理と契約 情報とメディア	幼児期 様々な気づきの体験を通じて、家族や身の周りの物事に関心をもち、それを取り入れる時期	小学生期 主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての実地の形成が促される時期	中学生期 行動の範囲が広がり、権利と責任を理解し、トラブル解決方法の理解が促される時期	高校生期 生涯を豊満した生活の管理や責任の重要性、社会的責任を理解し、主体的な行動が促される時期	成人期 精神的、経済的に自立し、消費者市民社会の構築に、様々な人々と協働し取り組む時期
	消費がもつ影響力の理解	消費をめぐると健康の関心を育む	消費者の行動が環境や経済に与える影響を理解しよう	生涯・流通・消費・健康が環境、経済、社会に与える影響を育む	生涯・流通・消費・健康が環境、経済、社会に与える影響に配慮して行動しよう
	持続可能な消費の実践	自分の生活と身近な環境との関わりを気づき、身の周りのものを大切にしよう	消費生活を豊かにするための実践しよう	持続可能な社会を目指す、ライフスタイルを築こう	持続可能な社会を目指す、ライフスタイルを築こう
	消費者の参画・協働	身近な消費者問題に目を向けよう	身近な消費者問題及び社会的課題の現状や、公正な社会の構築に向けた行動の場を築こう	身近な消費者問題及び社会的課題の現状や、公正な社会の構築に向けた行動の場を築こう	身近な消費者問題及び社会的課題の現状や、公正な社会の構築に向けた行動の場を築こう
	商品安全の理解と危険を回避する能力	危険を回避し、物を安全に使う方針を知ろう	危険を回避し、物を安全に使う方針を知ろう	安全で危険が少ない暮らしと持続可能な社会を目指す	安全で危険が少ない暮らしと消費活動をつくらう
	トラブル対応能力	困ったことがあったら身近な人に伝えよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	トラブル解決の法律や制度、相談機関の利用方法を理解しよう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用する習慣を付けよう
	選択し、契約することへの理解と考える態度	約束やきまりを守ろう	物の買い方、買い方を考え、適切な購入しよう	法的な意思決定に基づいて行動しよう	契約の内容及びルールを理解し、よく確認して契約する習慣を付けよう
	生活を設計・管理する能力	欲しいものがあつたら、よく考え、時には我慢することを知ろう	物や商品の大切さや使い方、計画的な買い方を考えよう	生涯を豊満した生活管理の計画や計画を立てよう	生涯を豊満した生活管理の計画や計画を立てよう
	情報の収集・処理・発信能力	身の周りの変化や情報を知ろう	消費に関する情報の収集や活用方法を考えよう	消費生活に関する情報や制度や制度の仕組みを知ろう	情報と情報技術を適切に利用する習慣を身に付けよう
	情報社会のルールや情報モラルの理解	自分や家族を大切にしよう	自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを守ろう	情報社会のルールや情報モラルを守ることが大切である	情報社会のルールや情報モラルを守る習慣を付けよう
	消費生活情報に対する批判的 思考力	身の周りの情報から「なぜ？」と問い、考えよう	消費生活情報の評価、選別の方法について学び、社会意識決定の大切さを知ろう	消費生活情報の評価、選別の方法について学び、社会意識決定の大切さを知ろう	消費生活情報を主体的に評価して行動しよう

※本ガイドブックで示す内容は、学校、家庭、地域における学習内容に基づいて体系的に組み立て、理解を進めようとするよう工夫されています。